

ウトナイ湖通信



No.249

2025 年2月号



ウトナイ湖の林で1年中見られるキバシリ。保護色で見つけづらい鳥ですが、鳥たちの動きが見やすい冬は観察のチャンスです。木の下から上へせん状に登ってはまた次の木へ飛び移る姿を探してみてください。

ウトナイ湖は、周囲約 9km、面積約 275ha、平均水深約 0.6m の淡水湖です。鳥類はこれまでに約 270 種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。

2月のイベント情報

お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

2月9日(日)10:30~11:30

レンジャーや当センターのボランティアが40分程、
屋外でウトナイ湖の自然を案内します。

※荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

●定員:10名程度

●申込:不要。直接当センターへ。

●対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴)

※参加される方は、防寒着を着用し、雪上を歩ける靴で
お越しください。



◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市植苗 156-26 / 道の駅となり

開館時間:午前 9 時~午後 5 時 / 入館無料

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

検索

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムートくん



~ ウトナイ湖 ~

・国指定鳥獣保護区特別保護地区
・ラムサール条約湿地
・東アジア・オーストラリア地域
・フライング・パートナーシップ

傷病鳥獣ルームから

当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



スズメ



体重 22 g

粘着シートから、
取り外した直後の様子



体の粘着物質の除去処置後の様子

11月12日



11月13日

死 亡

原因：粘着剤付着

民家に仕掛けてあったハチ捕獲用の粘着シートにスズメが貼りついてしまったとのことで、市民から相談があり、その後センターに搬入。

搬入後、まず粘着シートに貼りついたスズメを取り外し、またスズメの体に付着した粘着物質の除去処置を行った。

保温安静とし、経過観察していたが、体力消耗著しく、翌日死亡。

スズメ (スズメ目 スズメ科)

全長14cm。市街地や住宅地、農耕地などの、人の住む環境で最も身近に存在している種です。北海道でも1年を通じ観察することができます。雌雄同色で、全体的に茶色い体に黒い縦斑があります。雑食で、雑草の種子や昆虫などを食べます。4～8月に2～3回ほど繁殖を行うと言われています。

トピックス



ボランティア活動 野鳥の標本作成

当センターボランティアの吉沼さんを講師にむかえ、冷凍保管しているカケスとシメの標本を作成しました。完成後は館内展示を予定しており、普段近くで見ることが難しい鳥の体をじっくり観察いただければと思います。



毎月第2日曜日開催 お気軽ガイドウォーク

1月のお気軽ガイドウォークでは31名の方にご参加いただきました。当センターのレンジャー、ボランティアと一緒に湖岸や観察路をまわり、結氷した湖や雪の上に残ったエゾシカの足跡、オオハクチョウやダイサギなどを観察しました。次回は2月9日に開催します。



ボランティアコーナー

今年度ボランティア体験講座に参加し、新しく4名の方にボランティア登録いただきました。これからよろしくお願いします。

当センターのボランティアに登録しようと思った理由はなんですか？



おかざき さん

ウトナイ湖で野鳥の保護活動をしていることを知り何か役に立てることがあればと思い登録させて頂きました！



ながせ さん

動植物についてもっと学びたいと思っていたことに加えて、自然の素晴らしさや面白さを広く知ってもらおう活動にも関わってみたいと思ったため。



あいかわ さん

身の回りの自然のことは何でも知りたい。特に、鳥の気持ちがわかれば……



ほんや さん

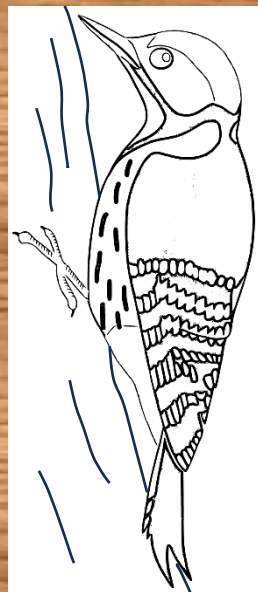
元々、鳥類が大好きだったので、野鳥がたくさん集まるウトナイ湖でボランティア活動ができたら勉強にもなり、面白そうだなと思い、登録しました。

ウトナイ湖 お楽しみコーナー

【ウトナイ湖・ぬりえ】

ウトナイ湖の冬の林で、林に響くような音で木をつついていくキツツキの仲間が見られることがあります。

コゲラ、アカゲラ、オオアカゲラがよく見られます。今回はその中の「オオアカゲラ」のオスをぬってみましょう♪



公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



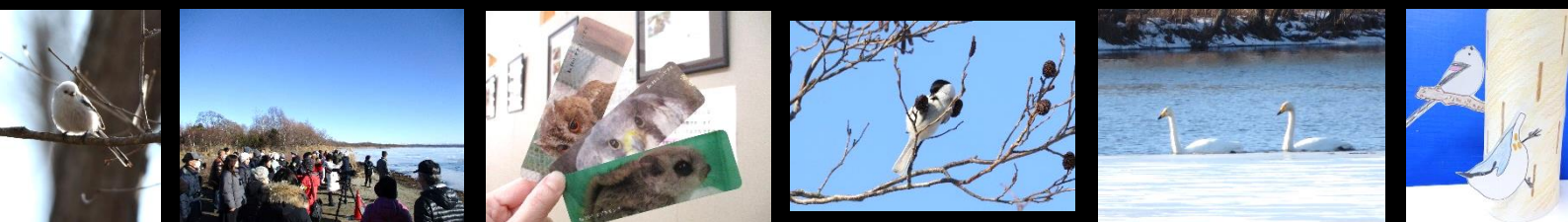
Instagram



facebook



X(旧 Twitter)



レンジャーのおすすめ自然情報



【シジュウカラ】

全長 15cm、ウトナイ湖の森で普通に見られる。胸に黒い縦線があり、これが「ネクタイ」と表現されることがある。



【エナガ(亜種シマエナガ)】

全長 14cm、「ジュリリイ」などと鳴く。まず鳴き声を探して、聞こえた方向をじっくりと見るのが出会うためのコツ。



【ゴジュウカラ】

全長 14cm、頭を下にして木を下る行動が特徴的。本州では山地にすむが、北海道ではウトナイ湖など平地でも見られる。



【ヒヨドリ】

全長 28cm、大きな声で「ピーヨ」などと鳴く。色々なものを食べるので季節ごとの食べ物の変化を観察すると面白い。

冬を含めて1年中ウトナイ湖の森にすむ野鳥を4種紹介します。

冬は落葉のため、森の野鳥を見つけやすい季節です。この冬、ぜひウトナイ湖でお気に入りの野鳥を見つけみてください。そして四季を通じて観察を続けると、季節ごとの鳴き声や行動の変化など面白い発見があるはずです。



ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらから



Instagram



facebook



X(旧 Twitter)

自然観察路ガイドマップ【冬】

